

下越の国有林における取組

—令和5年度—

下越森林管理署



☆新潟地域民国連携関係者打合せ会議の開催

民有林行政との連携を図るため、新潟地域において打合せ会議を初開催しました。

新潟地域における民有林行政とのより一層の連携を図るため、新潟県出先機関（新潟地域振興局、津川地区振興事務所）と、関係する7市町（新潟市、胎内市、新発田市、阿賀野市、阿賀町、五泉市、聖籠町）の実務担当者等による打合せ会議を令和5年4月27日に新潟地域で初めて開催しました。令和5年度における民有林と国有林の主要な取組みと、当署から、災害時のドローンの活用事例と、ニホンジカの状況把握について情報提供しました。今後も継続して実施していくことで、民有林と国有林との事業連携を目指します。

打合せ会議 令和5年4月27日(木)



鹿ノ俣 オス (9月27日)



三五郎 メスと幼体 (6月11日)

【センサーカメラ】



【新潟北部豪雨被害】

☆林業の新しい作業システムの現地検討会

伐採から植付けまでの作業を連続して行う一貫作業システムと列状間伐の現地検討会を開催しました。

林業の低コスト化を目指して、伐採から植付けまでの作業を連続して行う一貫作業システムと列状間伐について、取組みへの理解・普及を目的に、阿賀町古岐山国有林において、新潟県、県内各市、森林組合、林業事業体等、森林管理局・署から67名の参加により現地検討会を開催しました。現地では、列状間伐から造材、搬出までの連続作業と、その作業機械を使用した地拵え作業を見学し、発注コストや、請負者のメリットなどの話題のほか、伐根処理方法や森林作業道の作設など様々な意見交換があり、この検討会を契機として、民有林への作業システムの導入のきっかけになればと考えています。

現地検討会 令和5年7月27日(木)



☆丸太採材技術等の現地検討会

伐採木の素性を見極めて、価値の高い丸太生産をするための採材技術の現地検討会を開催しました。

伐採した一本の木を採材する際に、曲がりや太さなどの素性を見極め、適切な長さに採材し、価値の高い丸太を生産するため、阿賀町古岐山国有林において、林業事業体、需要者である製材所、森林管理局・署から30名の参加により現地検討会を開催しました。班ごとに採材した結果について意見交換を行うとともに、実際に造材して認識する良い機会となりました。

現地検討会 令和5年7月27日(木)



☆新潟大学との連携

伐人材育成の一環として、新潟大学農学部へフィールドの提供を行いました。

下越森林管理署と新潟大学農学部とは、それぞれが連携と協力を行い、大学側の研究及び教育活動と、管理署側の業務に助言をもらう目的により協定を締結しています。

令和5年度の主な活動としては、阿賀野市折居国有林内のフィールドを活用して、新潟大学農学部3年生32名による間伐の調査実習が行われました。

間伐調査実習 令和5年7月27日(木)



☆林業体験・木工教室

森林環境教育と未来への投資として、イベントの開催と地域の取組みへ参画してします。

敬和学園高等学校の今回で31回目となる体験活動を、阿賀野市国有林において3年生13名が参加して、スギの除伐作業を体験してもらいました。木を伐採するといった普段の生活の中では体験できない作業が、将来の良い経験になることを願っています。

また、第41回災害復興記念事業として開催された、「子どもの遊びのひろば」に参加しました。下越署では木工品づくりとしおりづくりを提供し、多数の家族連れ思い思いに制作されていました。こういった機会を通じ森林に興味を持っていただけるようイベントに参加していきたいと思ひます。



←体験林業
令和5年5月19日

木工教室 →
令和5年5月19日

